平成26年度 全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第67回全国高等学校バスケットボール選手権大会

(男)2回戦

試合日: 2014/08/03 開始時刻: 15:00[^]

場: 船橋市総合体育館

□ - ト: C□-ト

試 合 順: 第4試合(男)2回戦

Г.	<u> </u>	<u> </u>	<u>ا ۱</u>	<i>IV I</i> Z		モハ ス	
	Team A		-		1		Team B
	市立船橋	108	32 26 29 21	- - -	12 16 22 13	63	法政二
	(千葉県)		-	-	~	J	(神奈川県)

TeamA(市立船橋)

	PT	選手名	得点	3ポイント	2ポイント	フリスロー	反	IJ	リハ゛ウント゛			プロック	ターン
	' '	医 丁 百	は	成	成	成	則	off	def	計	사	ショット	オーハ゛ー
4		戸田 貫太	8	0	4	0	2	1	3	4	3	0	2
5		川島 翔吾	4	0	2	0	2	2	4	6	0	0	0
6		平良 彰吾	10	0	4	2	1	0	1	1	4	0	0
7		青木 太一	21	0	9	3	0	0	4	4	2	2	1
8		杉田涼	13	4	0	1	0	4	4	8	0	0	1
9		岡野 直樹	10	2	1	2	0	0	1	1	2	0	1
10		川上 海斗	9	0	3	3	4	2	3	5	2	0	0
11		畠山 大	3	0	1	1	2	0	1	1	1	0	1
12		渡辺 和人	4	0	1	2	2	0	0	0	4	0	1
13		菅野 竜介	11	2	2	1	3	0	0	0	1	0	0
14		白井 虎太郎	8	1	2	1	0	1	0	1	1	0	0
15		田村 伊織	7	0	2	3	0	1	3	4	0	0	0
16	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-		-	-	-	ı	•	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							0	2	6	8			0
合 計		108	9	31	19	16	13	30	43	20	2	7	

TeamB(法政二)

	PT	選手名	得点	3ポイント	2ポイント	フリスロー	反	IJ	バウント		アシ	プロック	ターン
		י ו	17777	成	成	成	則	off	def	計	자	ショット	オーパ・ー
4		中川 洸弥	12	3	1	1	0	1	0	1	0	1	1
5		小野 玲音	6	2	0	0	1	0	2	2	1	0	2
6		小柳 拓斗	2	0	1	0	3	1	1	2	0	0	1
7		大塚 淳平	12	0	5	2	2	0	2	2	3	0	2
8		中村 大成	2	0	1	0	2	0	0	0	0	0	1
9		森角 悠馬	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
10		外舘 拓海	5	0	2	1	1	3	1	4	1	0	5
11		四戸 貴之	7	1	2	0	4	2	0	2	4	0	4
12		中島 拓哉	15	3	3	0	2	0	0	0	0	0	1
13		戸井 堅士朗	2	0	1	0	2	2	1	3	0	0	2
14		伊藤 悠希	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
15		鴨志田 紘希	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
16	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-		•	-	ı	-	-	•	-	-	-	-	-
Team / Coach:						0	4	14	18			0	
合 計		63	9	16	4	17	13	22	35	10	1	21	

TO/CK/SS 千葉県高体連バスケットボール専門部所属高校バスケットボール部

InterHigh School 2014 in Chiba





前半(1·2ピリオド) 後半(3・4)ビリオド 延1 延3 延4 914 TeamA**|18:10**| 1:48

第1P、市立船橋は2-2-1ゾーンプレスからの2-3ゾーン、法政二はハーフコートマン ツーマンでゲーム開始。市立船橋のゾーンディフェンスをなかなか攻略できない法政二に対し、市 立船橋はインサイド、アウトサイド、ドライブイン、速攻など多彩なオフェンスで次々と得点を重 ね、第1Pで20点差をつけて圧倒する。第2P、市立船橋#7が個人技で得点し突き放しにかか ると、法政ニはディフェンスをオールコートマンツーマンに切り替えて対抗する。法政ニは#4、 # 5 の 3 p などでリズムをつかみかけたが、市立船橋の速い展開のオフェンスを止められず、 5 8 対28と市立船橋の大量リードで前半を終えた。

第3P、市立船橋は前半に引き続き堅く粘り強いディフェンスを徹底し、スティールから速いオ |フェンスを展開する。法政ニは#12の3pで反撃するも、それ以外の攻め手を欠き、点差を縮め るには至らなかった。第4P、両チームとも最後まで厳しいディフェンスを貫いたが、市立船橋の 速いパス回しからのオフェンスが機能し、着実に点数を重ねていく。法政二はアウトサイドシュー トで応戦するも、市立船橋が圧倒的な強さを見せ、108対63で勝利した。

審判 中澤 久馬 / 戦評 伊藤 亮介

樋口 智則